

車椅子走行性

■車椅子やストレッチャーのスムーズな移動

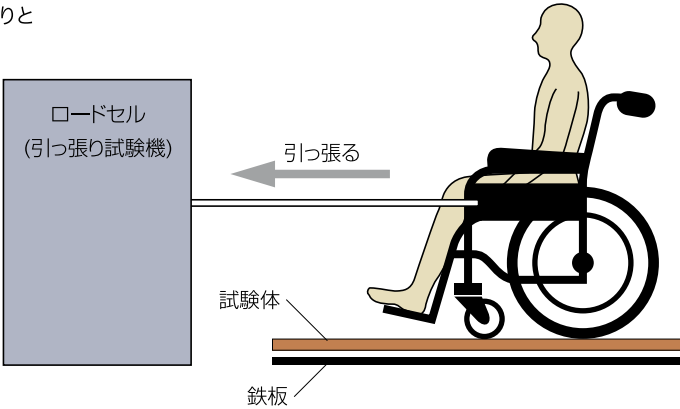
車椅子や配膳車、移動ベッドなどキャスターで移動するものの走行を考えた場合、床材の耐久性や安全性といった機能とともに走行性も考慮する必要があります。

一般的に、床材の表面が硬く弾力性のないものほど走行性はよくなりますが、硬い床材は衝撃吸収性や歩行感に劣るため、場所に応じて性能のバランスを考えた床材を選ぶ必要があります。

■試験方法

試験床材を鉄板の上に敷き、その上に左右のパイプにロープを取り付けた車椅子を乗せ、試験者(重量64kg)を乗せて15秒間静止した後にゆっくりとロープを引っ張り、動き出すときの力の大きさ(N値)を測定します。

- 車椅子 重量:21.1kg
前輪:ゴム製 直径17cm
後輪:チューブ式タイヤ 直径60cm
- 試験者 重量:64kg



■車椅子の直進走行性試験結果

商品名	総厚 (mm)	(kgf)	動き出すときの引っ張り最大荷重								
			走行しやすい ←──								

※1kgf=9.8N ※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値が異なる場合があります。

■数値の判断基準は？

車椅子が動き出す時にかける力(N値)が小さいほど走行しやすいことを示します。